八王子市市民活動支援センター 令和3年度 事業報告

八王子市市民活動支援センター センター長 岡崎 理香

支援センター事業令和3年度を振り返って

令和3年度も昨年同様、新型コロナウィルス感染症感染防止の措置を十分に考慮した、いわゆるウィズコロナのセンター運営となりました。東京都や市の対応に合わせ、センターでも時間、利用者数の制限、消毒等の感染防止対策を充分に行い、施設の運営、各事業の実施にあたってきました。

そのようななかで、コロナで活動に苦慮する市民や活動団体の支援になるような講座、イベントを多く取り入れ、令和2年度はコロナ初年のためブレーキがかかった分、今年度は例年よりも多い講座やイベントを実施して好評を得ることができました。もちろん、三密を避けるためにオンラインを多用した開催となりました。

ビジョン「私たち一人ひとりがつながって、夢をカタチにできる八王子」の実現を目指して、スタッフ一同「社会課題と市民・団体の力をつなぎ、市民が社会貢献活動に参加し、NPO・市民活動団体がチカラを発揮できるよう、さまざまな事業を通じ支援」するような業務にあたってきました。

1. 市民活動の促進のための施設の提供に関する事業

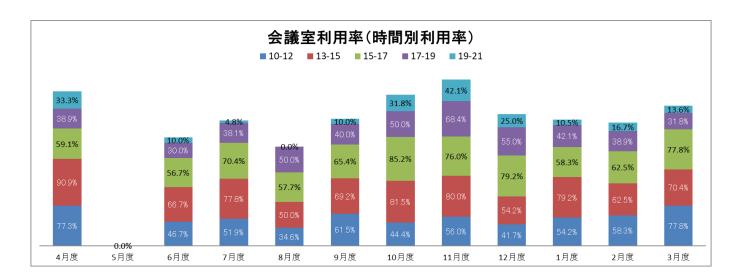
(1) 施設利用状況

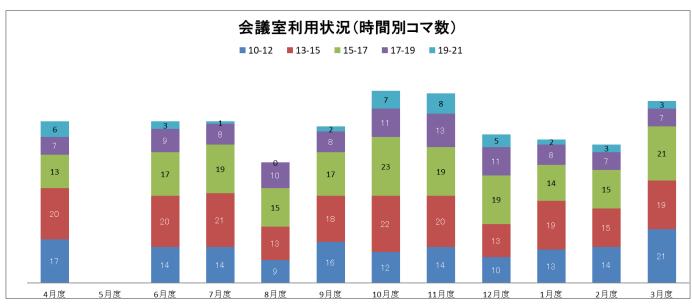
交流室	活性化室	フリースペース	コピー機	印刷機	面談 相談	来所他	電話 相談	電話他	メール 相談
685	606	624	126	72	122	150	42	1207	1
544	518	0	75	32	72	328	42	2134	0

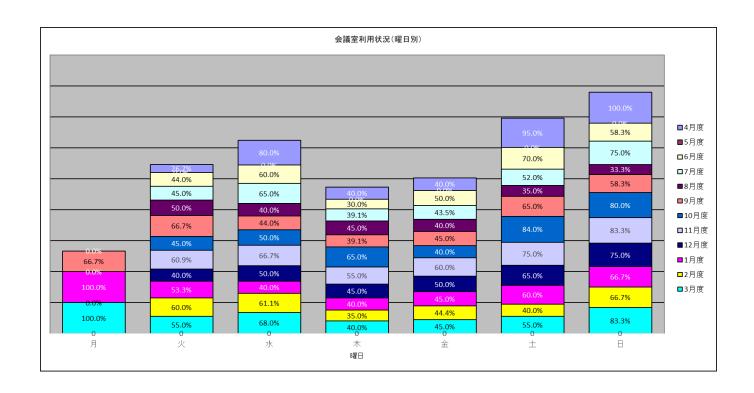
上段:令和3年度、下段:令和2年度

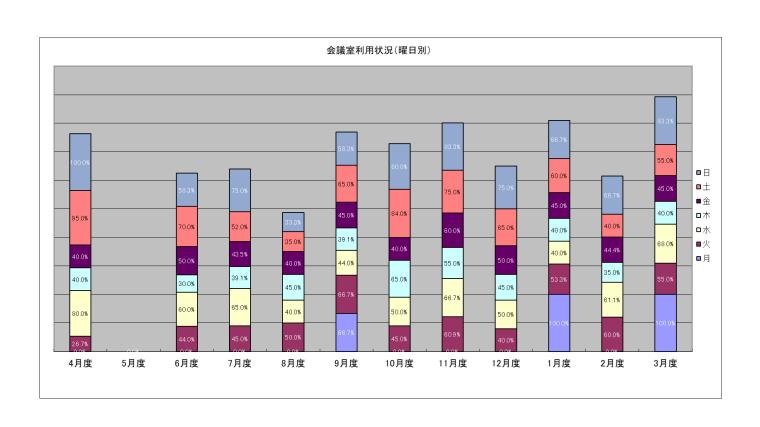
会議室和	川用状況((年間)																
月	コピー機	印刷機	面談 相談	来所 他	フリース ペース	電話相談	電話他	メール相談	活性化室	月開館 日数 (A)	利用可能 区分 会議 室こま数 (B)	実利用 会 議室こま 数 (C)	会議室 利用率 (C/B)	センター 無利用 日数(D)	実利用 日 数 (E=A- D)	利用日数 率(E/A)	利用団体 数	利用者数
4月度	7	5	7	20	0	2	111	1	42	26	102	63	61.8%	1	21	80.8%	37	311
5月度	4	10	2	10	0	3	63	0	0	26	0	0	0.0%	0	26	100.0%	0	0
6月度	25	15	1	14	29	3	127	0	54	26	150	63	42.0%	2	24	92.3%	22	338
7月度	7	8	13	8	77	12	91	0	58	27	123	63	51.2%	2	25	92.6%	21	299
8月度	8	3	9	7	31	2	95	0	45	26	118	47	39.8%	2	24	92. 3%	17	233
9月度	10	7	13	2	33	6	99	0	67	26	118	61	51.7%	2	24	92. 3%	24	316
10月度	17	3	11	20	82	1	140	0	61	27	125	75	60.0%	2	25	92. 6%	31	449
11月度	11	9	10	24	105	1	114	0	56	25	118	74	62.7%	2	23	92. 0%	27	458
12月度	13	4	10	14	84	6	95	0	60	24	112	58	51.8%	0	24	100. 0%	39	794
1月度	8	3	15	11	53	1	117	0	47	24	110	56	50.9%	1	23	95. 8%	23	308
2月度	5	3	16	9	69	0	75	0	55	24	108	54	50.0%	0	24	100. 0%	24	319
3月度	11	2	15	11	61	5	80	0	61	27	125	71	56.8%	0	27	100.0%	27	411
計	126	72	122	150	624	42	1207	1	606	308	1309	685	52. 3%	14	290	94. 2%	292	4236

区利用状況(B	寺間帯別))																
区分		10-12			13-15			15-17			17-19			19-21		全区分	小計	
月	利用こま数	利用可 能こま 数	利用率	利用 こま数 小計	利用可 能こま 数小計	月												
4月度	17	22	77.3%	20	22	90.9%	13	22	59.1%	7	18	38.9%	6	18	33.3%	63	102	4月月
5月度			0.0%			0.0%			0.0%			0.0%			0.0%	0	0	5月度
6月度	14	30	46.7%	20	30	66.7%	17	30	56.7%	9	30	30.0%	3	30	10.0%	63	150	6月度
7月度	14	27	51.9%	21	27	77.8%	19	27	70.4%	8	21	38.1%	1	21	4.8%	63	123	7月度
8月度	9	26	34.6%	13	26	50.0%	15	26	57.7%	10	20	50.0%	0	20	0.0%	47	118	8月度
9月度	16	26	61.5%	18	26	69.2%	17	26	65.4%	8	20	40.0%	2	20	10.0%	61	118	9月度
10月度	12	27	44.4%	22	27	81.5%	23	27	85.2%	11	22	50.0%	7	22	31.8%	75	125	10月月
11月度	14	25	56.0%	20	25	80.0%	19	25	76.0%	13	19	68.4%	8	19	42.1%	74	113	11月月
12月度	10	24	41.7%	13	24	54.2%	19	24	79.2%	11	20	55.0%	5	20	25.0%	58	112	12月月
1月度	13	24	54.2%	19	24	79.2%	14	24	58.3%	8	19	42.1%	2	19	10.5%	56	110	1月度
2月度	14	24	58.3%	15	24	62.5%	15	24	62.5%	7	18	38.9%	3	18	16.7%	54	108	2月度
3月度	21	27	77.8%	19	27	70.4%	21	27	77.8%	7	22	31.8%	3	22	13.6%	71	125	3月度
計	154	282	54.6%	200	282	70.9%	192	282	68.1%	99	229	43.2%	40	229	17.5%	685	1304	計
													※計(利)	甲率は年間	間平均値)	57.083		









昨年度に引き続き、当年度初めより新型コロナ感染症予防対策を考慮して、会議室やセンター利用に制限がありました。またフリースペースは6月下旬まで閉鎖状態の対応となりました。

また昨年度に引き続き、来場者の体温測定、消毒、および利用後の会議室の消毒を行い、利用同意書を義務付け利用者の履歴がわかるように管理しました。

経過

・令和3年4月26日まで 会議室利用20:00まで 定員9名、

フリースペース利用不可、コピー・印刷利用可

・4月27日より5月31日まで 会議室利用不可

フリースペース利用不可、コピー・印刷利用可

•6月1日より6月21日まで 会議室利用20:00まで 定員9名

フリースペース利用不可、コピー・印刷利用可

•6月22日より11月30日まで 会議室利用20:00まで 定員18人

フリースペース利用可

・12月1日より令和4年3月31日現在 会議室利用21:00まで 定員18名

フリースペース利用可 コピー・印刷利用可(通常どおり)

(2) 市民活動を支援する環境づくり

年度初めの4月~5月には会議室利用が不可になるなど、昨年に引き続きセンター利用制限が多くありましたが、6月下旬からはフリースペースの利用も可能になり、会議室の定員も18名に戻りました。

それに伴いセンター来訪者、利用者の満足度向上のために、センター内のレイアウトや掲示などに工夫をこらして、市民活動を支援するにふさわしい環境づくりに努めました。

- ・センター内のチラシラックを整理し、わかり易い配置にしました。
- ・フリースペースが集いやすい空間となるように、明るい雰囲気づくりに努めました。
- ・パーテーションパネルを活用して、団体の紹介やイベントの紹介、センターニュースなど、タイムリーな発信を することが出来ました。
- ・掲示に工夫を凝らして、親しみやすいセンターを印象付けるとともに、適切な情報を得られる掲示配置に努めました。

【課題と評価】

昨年度は年間とおして感染者の増加、高止まりが続いたため、会議室の利用も例年には及ばず、使用率は約5割~6割での推移でした。このような中でも来所する市民に対しては感染防止を重視しつつ丁寧な対応を心掛け、利用者満足度アンケートでは99%超の満足度を得ました。特に令和2年度からずっと使用禁止としていたフリースペースの利用再開にともない、様々なレイアウト、展示の工夫を実施して、利用者にも親しみやすいセンターを印象づけることが出来ました。

2. 市民活動を行う者、市民、事業者、市及び地域の相互の連携並びに交流の促進に関する事業(地域・団体連携交流事業)

(1) はちおうじ NPO フェスティバル2021

·日時:令和3年10月31日(日) 11:00~15:30

・場所:長池公園芝生広場 長池公園自然館 YouTube チャンネル



コロナ2年目の令和3年度のNPOフェスティバルは、三密を避けるために長池公園芝生広場での出店(展示・体験・物販)と同長池公園自然館からのスタジオイベントYouTube 生配信、YouTube チャンネルでの団体紹介動画配信の3本立てで開催しました。司会は2年度と同じ、ユーチューバーの中野智行さんとレインボーズの宮城あかしさんにお願いし、約40もの市民団体が参加しました。

【課題と評価】

コロナ禍のため完全オンライン=YouTube ライブ配信で行った令和2年度でしたが、令和3年度は今できる範囲でできるだけこれまでと同じリアルな開催にならないかと考えた結果、密にならない広い公園の芝生広場でのテント出店、YouTube ライブ、YouTube チャンネルと多元的な開催となった。あいにく当日が悪天候のため芝生広場のテント出店は集客が良くなかったが、2年ぶりの対面開催に参加団体からも好評をいただきました。

(2) NPO はちおうじ会議

テーマ:「コロナ時代の共生社会実現のための連携」

・日時:2022年3月27日 完全オンライン (ZOOM) での実施

・参加者:22名+スタッフ5名+松原明(講師、総評)

講演「共生社会における連携のための相利」松原明さん

・グループワーク: 「コロナ時代に求められる新たな連携」 (ブレイクアウトルーム) 4グループに分かれる(5人から6人)

★「私たちが連携・協働すると、どんな新しい活動が生まれるか」を話してもらいました。

ウィズコロナ・ポストコロナの時代に求められる新たな連携を前提に、グループに参加した者のそれぞれの活動を協働することにより、自分たちが目指すことを達成する新たな活動を生み出せないか、のアイディア出しを行いました。

【課題と評価】

2021年度の NPO 八王子会議(第8回)は、当初コロナ時代の市民活動をどう展開するか、という前提のもと、自分(自団体)が行いたい活動や事業をピッチ形式でプレゼンテーションしてもらい、他の参加者から助言や連携、支援を引き出し、新たな連携・協働を生み出す場となるようにと企画しました。

しかし、開催直前の1月21日から「まん延防止等重点措置」が適用され、それへの配慮によりいったん延期としました。この企画を効果あるものにするには、ZOOM などのオンラインでは当初の目的が達成しにくいと判断したためです。

当初の企画は来年度に行うこととし、完全オンライン(ZOOM)で行う今年度の NPO 会議は、その準備的なものとしてプチアイディアソンを取り入れることとしました。多様性を持った、しかも初めて会うメンバー同士でディスカッションを行うことで、それまでになかった連携や新しいアイディアが見つかることを期待できます。

そこで生まれたアイディアをもとに、次回の NPO 八王子会議での提案(ピッチ型スピーチ)につなげることもねらいです。

(3)交流会

協働の場づくりのための市民活動団体の交流会は、団体同士の横の連携だけでなく、行政や公共的性質を持った組織にも呼び掛け、興味のある市民も募り、テーマ別・分野別等の様々な視点から開催しました。

時期	テーマ・内容	参加者	会場	担当
8月9日	中高生によるグループディスカッション	12名	学園都市センター	力石
	私たちが考える「八王子の未来」		ギャラリーホール	



11月20日	学生と地域とのつながり	25 名	子安市民センター	力石
	「SDGs ゲームでまちづくりを体験」		第1•第2会議室	
12月5日	国際分野の交流会	39 名	労政会館 ホール	力石
	「コミュニケーションの壁・やさしい日本語」			
2月27日	メタバース体験交流会	14名	オンライン(7名)	浜野
			センター会議室(7名)	
3月21日	生きづらさを感じる若者の支援者向け交流会	15 名	オンライン(Zoom)	力石
			センター会議室	

【課題と評価】

◆私たちが考える「八王子の未来」令和3年8月9日実施 中高生12名が参加。学年が近い4つのグループに分かれ、各グループで 「八王子の良さ」、「気になる点」、「どんな八王子になってほしいか」、 「行政への要望」、「未来への提言」について話し合い、プレゼンテーション しました。学生ならではの発言も多々あり、若い世代の市民参加意識を知ること が出来てとても有意義な時間となりました。参加者・保護者・オブザーバーとして 来ていただいた先生方などに高評価をいただき、参加した学生全員が「機会があっ たら、市民活動・地域活動に参加したい」「参加して、良かった」と回答し、開催 した意義があったと評価しています。保護者数名からも今後も是非声をかけてほ



しいと言われ、今後も若い世代にも市民活動に興味をもってもらえる交流会を実施していきたいと思います。

- ◆「学生と地域とのつながり」令和3年11月20日実施 学生にまちづくり・市民活動に興味を持ってもらい、今後センターとつながって 協働していくきっかけづくりとして企画し、呼びかけましたが、いちょう祭り・商 工会のイベントや大学の入試と重なり、参加者集めがとても厳しい状況でした。大 人も参加できるようにし、最終的には参加者は25名となりました (学生10名・大人15名)。
- ・SDG s カードゲームが面白く、横山さんのファシリテーションも素晴らしく、参加者の93%に高評価を頂きました。また、参加者の中で、支援センターを知っていたのは40%で、「聞いたことがある」20%、「知らなかった」40%の方に、センターのことを知ってもらうきっかけとなりました。事後アンケートでは回答者全員は市民活動に興味を持ったとの回答でした(「是非参加したい」33%、「機会があれば参加したい」67%)。
- ◆「コミュニケーションの壁(国際分野)」令和3年12月5日実施
- ・八王子国際協会に協力をいただき、第1部:「コミュニケーションの壁」についてのグループディスカッションと、第2部:「やさしい日本語」のワークショップの2部構成で実施しました。国際分野で活動している団体や個人の方・外国にルーツを持つ方々と一般市民に募集をかけたところ、すぐに定員を超えました。当日までキャンセル4名があったにも関わらず、参加者39名+スタッフで高い参加率となり



ました。外国にルーツを持つ方13名・団体の方17名・大学関係・個人ボランティア又は一般の方9名と バランスよく、各テーブルで意見交換がスムーズにでき、時間が足りず延長することになりました。各テーブルの発表も興味深く参考になりました。後半にやさしい日本語の入門講座が行われ、カタカナと漢字のカードゲームを使って体験することができました。参加者から高評価をいただき、「もっとやってほしい」「コミュニケーションの壁や取り方について考えさせられた」「つながりができた」などのコメントを頂きました。

◆メタバース体験交流会 令和4年2月27日実施

最新コミュニケーションツールであるバーチャルリアリティーを紹介し、メタバース (バーチャルリアリティー) 空間で交流することを体験してもらいました。初体験の方がほとんどで、アバター設定、バーチャルリアリティーを体験しながら、参加者同士で話したり、プレゼンを体験したり、空間移動



したりして、交流を楽しんでいただきました。コロナ禍の新しい活動ツールとして、今後の活動に活かせるように期待しています。

◆生きづらさを感じる若者の支援者向け交流会 令和4年3月21日実施 完全オンラインで開催しました。生きづらさを抱える方の支援団体、フリースクー ル関係者、ひきこもりの方の支援団体、障害者と保護者を支援している方、繊細な女 性の居場所づくりを提供している団体とお子様を亡くした方に加え、この問題につ いてもっと知りたい市民の方が参加いただき、参加者10名、スタッフ4名、講師1 名、合計15名となりました。



第1部でユースソーシャルワーカーの阿部慶子氏は選択理論を紹介し、「とても参考になった」、「すぐに活用したい」「もっと勉強したい」など高い評価をいただきまし

た。第2部のグループディスカッションでは少し時間が足りなかったことが残念でしたが、横のつながりが 誕生し、これからもコミュニケーションをとりながら、協働できることを考える契機になりました。この分 野で初めてかつ繊細な分野であるため効果としてはもう一歩でしたが、関係性づくりで貢献できた交流会で あったと思います。

3. 市民活動に係る情報の収集及び提供に関する事業

(1) 広報紙「SUPPORT802」について

本年度制作した広報紙の概要は以下の通りです。

発行号数	発行日	特集記事【取材団体】	発行部数
第 102 号	令和3年5月	紙芝居は、演じるのも楽しい!	5,000 部
		~わくわくする紙芝居の世界へようこそ!~	
第 103 号	令和3年7月	「八王子のルーツは、滝山城下にあり」	5,000 部
第 104 号	令和3年9月	災害ボランティア活動に学ぶ防災	5,000 部
		~IVUSA の学生災害ボランティア活動から見えてきたもの	
		\sim	
第 105 号	令和 3 年 11	脳障がいとともに歩む方たちへエールを	5,000 部
	月	~マルベリー東京パイロットクラブの2つの「柱」~	

第 106 号	令和4年1月	市民活動の「すそ野」を広げる!	5,000 部
		~多様なパートナーシップを生む、支援センターの取り組	
		み~	
第 107 号	令和4年3月	八王子でつながる二人の偉人(前編)	5,000 部
		肥沼信次博士~ドイツで語り継がれる日本人医師~	

主な配布先:センター登録団体、協議会会員、八王子市関係所管、市内公共施設、市内主な広報スタンド、中間支援団体、市内 NPO 団体、配布希望町会・自治会、配布希望大学、その他(八王子センター元気、八王子レクリィエーション協会、紙面掲載団体)

令和3年度はひきつづきコロナ禍ではありましたが、感染症流行拡大の合間を縫って、また、感染症蔓延防止の対策をとりながら、復活の兆しをみせ始めた市民活動を広報紙で取り上げることで、さまざまな市民活動団体の情報共有や活動の後押しにもなりました。

第98号から団体の活動の様子を QR コードで紹介したことが高評を得て、99号から毎回団体の活動やイベントの様子、団体に興味を持ってもらうようにクイズ形式のショートストーリーなど、メディアを活用した掲載が可能となり、情報にボリュームがでました。

また、助成金情報やイベント情報もQRコードを取り入れて、「はちコミねっと」の各ページにリンクすることで、利用者にとって情報の入手が容易になりました。

【課題と評価】

広報紙は広報スタッフ4名(うちサポートライター1名)で取材・編集を行っています。役割分担が明確化してきたこともあり、全体の作業の流れがスピーディになってきました。紙面作成で、団体の「想い」をどこまで反映させるべきか、全体の構成に関わるような指摘を受けたときのすり合わせが今後の課題であると考えます。

(2)メールマガジン「SUPPORT802 だより」

本年度発信したメールマガジンは以下の通りです。

号数	配信日	主な内容
No.147	2021/04/01	*巻頭言:市民活動と「学び」 *緊急事態宣言に伴う八王子市市民活動支援センターのご利用について ほか
No.148	2021/05/02	*巻頭言:緊急事態宣言下でのすごしかた *緊急事態宣言に伴う八王子市市民活動支援センターのご利用について ほか
No.149	2021/06/04	*巻頭言:「世界環境デー」について * 支援講座「はじめてのZoom 超!初心者向け講座」 * 超初心者向けフェイスブック活用講座 ほか
No.150	2021/07/02	*巻頭言: アクティブ市民塾とリンクした SUPPORT802 第 103 号の紹介〜映像資料とリンク * 交流会「中高生によるグループディスカッション」 ほか
No.151	2021/08/06	*巻頭言:コロナ禍で迎えたオリンピック大会、酷暑の影響や自然災害のニュースが 多くなる時期の過ごし方など日々雑感 *「NPO パワーアップ講座」全6回 *はちおうじNPOフェスティバル 2021 ほか
No.152	2021/09/03	*巻頭言「2020 東京パラリンピックからパラスポーツ紹介」 *「はちおうじYouTuber から学ぶオンラインでまちおこし」 ほか
No.153	2021/10/01	*巻頭言:日常生活のなかで身近になった YouTube について *アクティブ市民塾「八王子ウオーキング協会ワンステップと歩く秋のウォーキング」 *「学生のための SDGs de まちづくり」 ほか

No.154	2021/11/01	*巻頭言:「はちおうじ NPO フェスティバル」終了 年末に向けた日常の過ごし方、雑感 *「学生のための SDGs de まちづくり」のご案内 ほか
No.155	2021/12/02	*巻頭言:コロナ禍における1年のふりかえり * 市民活動活性化のためのフェイスブック入門講座
No.156	2022/01/08	*巻頭言:今年の社会の予定 (冬季オリンピック開催、サッカーW、年齢の引き下げ等)と市民活動 *アクティブ市民塾 「一つ屋根の下お互いを支えながらより良い社会を目指す団体を訪ねよう」のご案内
No.157	2022/02/04	*巻頭言:「変わりゆくもの変わらないもの」 *NPO パワーアップ講座 全6回(2021年8月~2022年3月)のご案内 * 市民活動や地域活動でサクサク活用するためのメタバース体験交流会
No.158	2022/03/14	*巻頭言: カメラがつなぐ 2 国の心のふれあい *「第 8 回 NPO 会議」のご案内 *「生きづらさを感じる若者の支援者向け交流会」のご案内 ほか

【評価と課題】

メールマガジンの巻頭言は時季を反映したものを中心に、字数および内容をコンパクト化しました。広報紙だけでなくメールマガジンでも啓発事業とリンクした内容を特集すると、参加申し込みが増える傾向にあり、事業宣伝への活用は今後増やしていきたいと考えます。センター利用者からメルマガへの感想も寄せられることもあり、読者は固定化しつつありますが、今後は読者をどう広げていくか、情報手段として知名度を上げていきたいと考えます。

(3) SNS の活用

広報紙「SUPPORT802」、メールマガジンのほかに充実を図っていきたいのが Facebook、ツイッターなどの SNS です。センター内の掲示についても、利用者に来所の楽しみと同時に中間支援組織として有意義な情報を得られる施設づくりを図っていきたいと考えます。

- (4) 八王子コミュニティ活動応援サイト「はちコミねっと」の登録・保守および活性化
 - ①「はちコミねっと」団体登録数(センター登録数) 445 団体(2021/4)→474 団体(2022/3)

令和3年度の新規登録団体 37団体

年間登録抹消団体 8団体

②団体向け「はちコミねっと」操作方法 月別講習会 22団体(参加人数27人)

個別講習会 15団体(参加人数18名)

③ 助成金情報 146件

講座情報 118件

イベント情報 189件

仲間募集 16件

活動レポート 303件

令和4年度は「はちコミねっと」が新システムに移行します。そのため、3年度は年間を通じて1年以上団体更新をしていない団体へ、団体情報更新のおすすめをしてきました。引き続き行います。

(5)支援センターWeb サイト

①ホームページの改善

しばらく見直していなかったホームページをスタッフ全員で見直し、改善点を洗い出し見やすく使いやすいホームページに改善しました。

- ②Twitter、Facebook などの SNS のツイート数やアクセス数など、年間を通して分析しました。
- (6) 東京ボランティアレガシーネットワークに今年度加盟登録し、八王子市市民活動支援センターの情報を発信しました。

(7)職場内 ICT 環境の整備

今年度新しい PC を導入したことを機に、職場の ICT 環境を見直しました。 市のデジタル推進課から送られてくセキュリティ情報をもとに、改善を試みました。

【課題と評価】

今年度は団体の登録が例年になく非常に多数になりました。いろいろな場面でこまめに声掛けをした成果が出ました。

「はちコミねっと」の講習会や個別講習も参加者が増えました。毎月チラシを作ってお知らせしたことと、直接お声がけした成果だと思います。来年度は「はちコミねっと」のシステム移行があります。その移行に向けて、団体情報更新のお願いに力をいれたことも功を奏しました。

ホームページの改善はまだ途中段階ではありますがだいぶ見やすく使いやすくなりました。今後さらに見やすく使いやすいホームページに改善予定です。

4. 市民活動に係る啓発及び人材育成に関する事業

今年度も団体活動のステップアップを狙ったパワーアップ講座や支援講座、市民の方に団体が取り組む市民活動を知っていただくためのアクティブ市民塾など、多角的に市民活動を周知するためのプログラムを実施しました。

(1) パワーアップ講座 〈7回〉 各15団体

◆ 方針: 市民活動団体がスキルアップする連続的な講座を行ないます。 また、参加団体同士の交流の場となるような開催形式とします。

◆ 実績:下記内容で全7回の開催が完了しました

No.	開催日	テーマ [サブテーマ]	講師	会場	参加者
1	2021/	居心地の良い組織の作り方	長田英史	※ 1	9組
	8/20	[組織で活動する意義、目的の共有]		視聴覚室	15 名
2	9/17	活動の推進、課題解決	同上	※1 第2	10 組
		[会議のやり方]		学習室	14名
3	11/12	市民活動団体の会計	脇坂誠也	※ 1	11 組
		[会計管理のポイント、会計報告の重要性]		同上	20名
4	11/26	市民活動団体の会計	YouTube	支援	3名
		[フォローアップ講座 追加講座]	視聴	センター	
5	12/10	市民活動団体の資金調達	徳永洋子	※1 第2	11 組
		[活動資金の安定化、ファンドレイジング]		学習室	19名

6	2022/	助成金申請書の書き方	小堀悠	※1 第2	13 組
	2/18	[助成金の仕組み、助成金申請のポイント]		学習室	23名
7	3/4	広報と地域メディアの活用	大久保	※ 1	15 組
		[パネルディスカッション方式で開催]	賢一	視聴覚室	25 名

※1:クリエイトホール

【課題と評価】

どの講座も、参加された方から「大変参考になった、教わったことを活用したい。」といった前向きな御意見をいただけました。講師の先生方が、活動に役立つ具体的なアドバイスを豊富に紹介してくださったことが有益でした。 未受講の市民活動団体には、ぜひ令和4年度での受講を希望します。

(2) アクティブ市民塾 〈6回〉 各10名~40名 (オンライン併用で開催の回も有り)

- ◆ 市民活動団体が講師となり、実演等も交えながら活動紹介します。参加した市民同士の交流の場ともなりました。
- ◆ 実績: 下記内容で全6回の開催が完了しました。

No.	開催日	テーマ	講師	会場	参加者
1	2021/	滝山城・城攻め体感	NPO 滝山城跡群・	都立滝山公園	17 組
	7/25		自然と歴史を守る会		42名
2	9/26	戦争遺跡	浅川地下壕の	浅川地下壕	12 組
		浅川地下壕 見学会	保存をすすめる会		20名
3	10/14	誰もが生き甲斐を持ち	NPO 法人	たねカフェ、	4名
		楽しく暮らせるように	しあわせのたね	ちいさなたね	
4	11/14	いちょう並木と旧甲州街道	八王子ウオーキング	西八王子駅~	14名
		を歩くウォーキング	協会ワンステップ	高尾駅	
5	2022/	ひとつ屋根の下でお互いを	NPO 法人こすもす・こ	カフェこすもす	6名
	1/21	支えながら より良い社会を	すもすだれでも食堂・	エコショップ元気	
		目指す団体を訪ねよう	エコショップ元気広場	広場	
6	3/13	ドイツで感染症と闘った八	Dr.肥沼の偉業を	まち・なか	41名
		王子の Dr.肥沼の偉業を知	後世に伝える会	ギャラリーホール	
		ろう			

【課題と評価】

参加者が比較的多い講座でも、講座への満足度が高い結果を得られました。これは、どの団体も活動を 紹介するスタイルがあったこと、そして八王子市民にとって、八王子の文化、歴史、偉人などについて学べる 講座のニーズが高かったためと思われます。

また、福祉(障害者支援)と地域での居場所づくりで一生懸命活動している団体を、より多くの方々に知って もらう・関心を持ってもらうために紹介させていただきました。活動内容やコロナ禍もあり、多人数で参加するこ とができませんでしたが、参加いただいた皆様からは高い評価をいただき、アクティブ市民塾を機に団体のお 手伝いをするようになった方もいます。また、「紹介されたことで、活動に活気がでた」「チラシをみて、訪ねて 来た方がいる」と団体から連絡をいただき、紹介させていただいて良かったと思いました。次年度も市内で活動 する多様な分野の市民活動団体を紹介したいと思います。













(3) 支援講座 〈8回〉 各7名~25名 オンライン併用

◆ 方針: NPOや市民活動団体向けに、市民活動の支援となる講座を行ないます。

◆ 実績: 下記内容で全8回の開催が完了しました。

No.	開催日	テーマ	講師	会場	参加者
1	2021/6/12	ショートムービー作成講座-1	山口亜希子	クリエイトホール	21 名
2	6/25	はじめての ZOOM	梅澤朗広	支援センター	12名
3	7/17	フェイスブックで輝きましょう	スタッフ	支援センター	9名
4	8/26	ZOOM 活用講座 第2弾	梅澤朗広	支援センター	7名
5	8/29	ショートムービー作成講座-2	山口亜希子	クリエイトホール	26 名
6	10/22	はじめての ZOOM 第3弾	スタッフ	支援センター	8名
7	12/22	FaceBook 入門講座	スタッフ	支援センター	7+7名
8	2022/1/28	ZOOM 活用講座 第4弾	スタッフ	支援センター	4名









【課題と評価】

令和3年度、ZOOM 講座は4回開催しました。コロナ禍でオンラインを用いた会議や集会の機会が増大し、 講座のニーズも非常に高いものになりました。初級から中級と毎回希望者が多く抽選となる人気講座となりま した。令和4年度はさらに高度な上級編も企画して、ウィズコロナ時代の市民活動に寄与する講座として定着 するよう努力します。加えて、インターネット関係、情報発信、コミュニケーションツールを紹介する講座を多く 行いましたが動画作成やフェイスブック活用よりも、受講いただいた皆さまのパソコン・スマホ活用スキルの 差が目立ちました。工夫し、より多くの方のお役に立つようにしたいと思います

4. 実践講座 〈1回〉 40名

◆ 方針: 市民向けに、NPOや市民活動の普及や啓発となるような講座を 行ないます。



◆ 実績:下記内容で開催が完了しました。

No.	開催日	テーマ	講師	会場	参加者	担当
1	2021/10/9	はちおうじYouTuberから学ぶ	中野智行	学園都市センター	24名	浜野
		オンラインでまちおこし		ギャラリーホール		

【課題と評価】

数年前より八王子まちおこしのために八王子の食べ歩きを動画で紹介して実績を上げている YouTuber中野氏を講師として依頼した本講座は、これまでに当センターとつながりのなかった市民を呼び込み、より広い意味での市民の地域への愛着や社会貢献意識、そしてシビックプライドを増進させた講座になりました。また、この講座の記録は YouTube で公開し、当日参加しなかった市民も視聴することができるようにし、コロナ禍での対面が困難と感じる市民へ手軽に事業に触れられるように工夫しました。

5. ゆめおりファンド事業

(1)団体情報開示支援

1. ゆめおりファンド認証団体・登録団体-1

◆八王子市内で CANPAN★★★、★★★★を取得している団体を中心にゆめおりファンドの紹介と 登録依頼のため訪問し、登録を依頼しました。ゆめおりファンドの主旨に賛同いただいた3団体に認証 団体として登録いただくと共に、スタートアップ3団体の登録も加え、今年度は新たに7団体に新規登 録いただきました。

これにより、八王子市内の CANPAN 登録団体149団体中、ゆめおりファンド登録団体は約43%となりました。中でも八王子市市内の CANPAN★★★以上の13団体のうち約72%がゆめおりファンド認証団体として登録済みです

- 2. ゆめおりファンド認証団体・登録団体-2
 - ◆ゆめおりファンドの登録団体数は昨年度から7団体増え、65団体となりました。
 - ◆全体数は増えつつありますが、認証団体は23%、参加団体は77%となっています。
- 3. 「ゆめおりファンド認証盾」贈呈

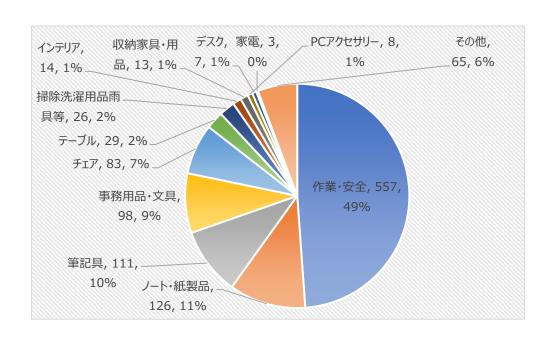
新たに認証団体として登録した特定認定 NPO 法人 ゆぎの里、社会福祉法人 いきいき福祉会 (NPO 法人フードバンク TAMA は別途贈呈) に「ゆめおりファンド認証盾」を指定管理者NPO法人八王子市 民活動協議会理事長より贈呈しました。

その他の贈呈対象団体は、上記3団体に加え蕗の会、チャイルドライフ、八王子いちょうの会、スペシャルオリンピックス日本・東京、八王子市民活動協議会、筋無力症患者会、八王子共生社会推進会議、難病ネットワーク、フードバンク八王子えがお、なみき福祉会、ボーイスカウト八王子第 12 団 (除く、多摩草むらの会)の計 14 団体です。

- 4. 課題と今後の進め方
 - ◆参加団体は毎年増加しつつありますが、CANPAN★★★以上の認証団体の比率が低いことと CANPAN★、★★団体の多くが団体情報を更新していないことが課題です。そこで、ここ数年間 「CANPAN 登録・更新説明会」を開催してきましたが参加団体は微々たるものでした。地域社会からの 信用・信頼を得る上で情報開示は必要と考え、今後も CANPAN★★★化も含め更新支援を継続いたします。
 - ◆また、「はちコミねっと」新規登録団体向けにゆめおりファンドの紹介と登録依頼、CANPAN 登録支援を行うため情報事業部門との連携を図ります。
 - ◆ゆめおりファンド事業は発足十余年を経過しています。そこで、今までに物品支援、人財支援が運営 基盤強化や活動継続にどの程度役に立ったのか調査し、フィードバックを更なる改善のヒントとするた めのアンケートを行いたい。併せて、地域課題の変化やスタッフの高齢化、更には新型コロナなどが 団体活動に及ぼした影響について調査したいと考えます。

(2)物品の支援

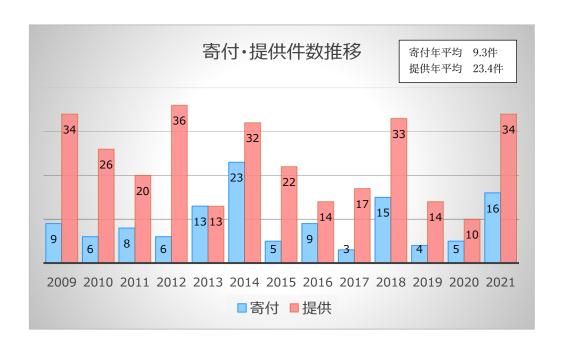
- 1. 寄付•提供実績(件数)
 - ◆新型コロナ禍の中、企業様、個人からの寄付件数は直近1,2年の3倍の16件と増加しました。団体活動も自粛気味と予測しましたが、スタートアップ団体への提供件数も直近の2、3倍の34件と増加しました。With コロナ禍での団体活動再開の兆しであればと願うばかりです。



2. 寄付·提供物品数量(参考)

◆寄付・提供物品数量はおおよそ次の通りです。

(物品によりカウントの方法はまちまちです。箱、鉛筆1本、1ダース、用紙枚数、ケース入り等も「1」の場合もあります)



3. 寄付物品~16 件~

◆寄付物品の概要

◆コーユーレンティア株式会社様の紹介で西松建設株式会社、パーキングソリューション株式会社から寄付を頂いたほか、立川市の某企業、東京薬科大学、東京都環境公社、映像802、八王子市民活動協議会、協同組合 EMS、一般市民からデスク、チェア、テーブル等事務室什器、壁掛け時計、ハンガー等インテリア、書架、書庫、ロッカー等収納家具・用品、大型スクリーン、ホワイトボード、2穴パンチ、ホッチキス、レターケース等事務用品、ダブルクリップ、ゼムクリップ、ゴムバンド、伝票、定規、コンパス、鉛筆削り等文房具、マジックインキ、ホワイトボードマーカー、シャーボ、鉛筆等筆記具、コピー用紙、マルチペーパー等ノート・紙製品、リングファイル、フラットファイル、クリヤーファイル、ファイルホルダー等ファイル類多数寄付いただきました。

又、市内某企業から社会貢献したいとの想いと共に子供用へルメットを沢山ご寄付いただきました。 更には生活協同組合パルシステム東京からの緊急支援「お米」を斡旋しました。三六商店からは 佃煮を寄付いただきました。個人様から寒空で困っている方にと下着を寄付いただきました。

- ◆このように、2021年は物品だけでなく、食品、衣料品なども寄付いただきました。
- ◆これら以外に3つの企業様から寄付の問合せをいただき、「ゆめおりファンド」のプレゼンを行いました。

作業·安全	557	ヘルメット、緊急用毛布	
ノート・紙製品 126		コピー用紙、白地厚紙、のし紙	
筆記具	111	シャーボ、マッキー、マジックインク、	
事務用品·文具	98	スクリーン、ホワイトボード、2 穴パンチ、ホッチキス、裁断機、鉛筆削り、各種トレー	
チェア	83	OA椅子、スタッキングチェア	
テーブル	29	丸テーブル、四角テーブル	
掃除洗濯用品雨具等	26	5 ゴミ箱(傘、石鹸)	
インテリア	14	丸時計、ハンガー	
収納家具·用品	13	ロッカー、書架、書庫、	
PCアクセサリー	アクセサリー 8 (各種ケーブル)		
デスク 7		片袖デスク	
家電	家電 3 テレビ、DVDレコーダ		
ファイル	多数	リングファイル、クリヤホルダー、パイプ式ファイル、	
その他	65	ネッククーラー、食器、紅白幕、下着	
その他・食品 -		お米550KG、佃煮500、うまい棒11	

5)活用報告

◆2020年度にコーユーレンティア様の紹介で寄付いただいた西松建設、都内某企業、2021年 度にヘルメットを寄付いただいた八王子市内の企業、「お米」を寄付いただいた生活協同組合パルシステム東京、立川市の某企業に対して、寄付品の活用状況をまとめ報告の予定です。

(3)人財支援(プロボノ)

6年目となった人財支援事業は、今までの基本的なプロボノを推進する方針にとって、 逆風の年になりました。

一つには、サービスグラントの指導を受けてプロボノを始めた府中市の「ちょこっとプロボノ」でも、従来型の 堅苦しさを感じさせないイメージのうえ、11団体を完了させていますが、7団体は報酬を出しています。 (サービスグラントのプロモーションビデオでも有償を否定していません)

もう一つは、八王子市福祉部の「地域の人材 縁×結び プロジェクト」の本格展開です。タイトル自体の文言には入っていませんが、主導するサービスグラントの説明は「プロボノ」そのものです。一年前に同法人が開設したプロボノのポータルサイト「GRANT」コーディネート登録33団体中、市民活動支援センター

の「プロボノ@八王子」に続いて八王子市内の高齢者あんしん相談センター3つも参加しました。同一行政市(区)内で複数の参加は八王子だけです。福祉部の志向は、団体力を向上させることよりも介護予防や孤立化防止にあり、継続したお手伝いや謝金をも厭わない広義の展開をしています。懸念材料としては、志しのあるワーカーが目移りしないか、団体がプロボノを一つのステップとして地力を付けようとするのではなく、ワーカー(下請け)依存度を強めないか、の2点です。このような背景にありながら、以下の通り4件の実績を上げることができました。

1) 中期プロボノ・随時プロボノ

- ① 認定NPO法人CES「グループウェアの選定」(ワーカー: 児島さん。3/18~6/1 全8回)従来、個々人で業務情報のやり取りしていたものを、3事業所で共有し効率的な活動を展開できるようなグループウェアがないかとの要望に応えて実施しました。サイボウズなど複数のツールを現場の人にも見て頂きながら、LINE_WORKSが適しているとの結論になりました。なお、コロナ禍のため、オンライン・対面を取り交ぜて実施しました。
- ① エコショップ元気広場「団体Face_Bookの充実」(ワーカー: 小林ヒロカズさん 8/2) 既に団体として Facebook を開設してあったものの、閲覧数も少ない状態でした。コロナ禍におけるSNSの有効性を 感じて、改善策のアドバイスを求められました。サービスグラントのポータルサイトを利用し小林ヒロカズ さんの協力を得て、事前の準備はありましたが、オンラインの一日だけで完了しました。その後の団体は 格段に活用度が向上しました。
 - ③ 認定NPO法人CES II「グループウェア導入」(ワーカー: 児島さん。6/16~11/10全7回)前回はどの グループウェアが適しているか比較検討した段階での結論でしたが、実際に展開・活用してこそ意味が あり、そのためには団体だけで成し遂げることは困難とのことで異例でしたが、第二弾を実施し、完了後 の活発な活用につなげることができました。この期間もオンライン(ハイブリッド)を中心に、可能な日は 対面での活動になりました。
 - ④ 元本郷お助け隊「ちらし作成支援」(ワーカー:鈴木佐登美さん。11/16・28 全2回) 先述の福祉部による活動から、高齢者あんしん相談センター追分が受けた相談を引き継いで実施しま した。センタースタッフが業務外にワーカー登録して、プロボノ体験の場にもなりました。単なるチラシ 作りのノウハウに留まらず、利用者目線など市民活動に欠かせない視点を理解して頂き、今後に活かせ る機会となりました。

■その他の人財支援活動

- 4月13日 高齢者いきいき課(辻野主査・山田さん)を訪問しプロボノ説明
- 4月21日 高齢者あんしん相談センター南大沢(青山さん他)でプロボノ説明
- 5月16日 志民塾 OB 会 Zoom ワンテーマサロンでプロボノワーカーについて説明
- 7月16日 高齢者あんしん相談センター南大沢での福祉部説明会を傍聴
- 7月24日 府中プラッツ・プロボノ中間 Zoom 報告会傍聴
- 7月26日 東京工科大(千種さん・日比野さん・学生)オンラインでプロボノPV 作成
- 7月28日 協働推進課(長尾主査)と福祉部との関係打合せ
- 8月3日 学園都市センターで開催された福祉部のプロボノ説明会傍聴
- 1月8日 志民塾でファンド事業(プロボノ)説明
- 2月18日 高齢者あんしん相談センター由木東訪問(蛯子さん)からプロボノ相談

- 3月4日 今秋計画のプロボノ説明会講師予定の石山先生と Zoom 打合せ
- 3月 5日 川崎プロボノ部 zoom 報告会傍聴
- 3月17日 川崎プロボノ(吉田さん・廣岡さん・岩田さん)と zoom 打合せ

5. 調査研究活動

社会環境の課題やNPO、市民活動の実態把握が大変重要であり、スタッフが外部イベントや講習会等へ参加しスタッフのレベルアップに努めました。

また、今年度も団体ニーズ調査を7月~8月に施設利用満足度調査を12月~2月に行いました。結果は支援センターホームページに公開しております。概して団体ニーズ調査では団体が活動するうえでの課題などが明らかになり、また利用満足度調査では非常に高い満足度をいただきました。今後のセンター運営に役立ててまいります。

別紙添付:調査まとめ

【課題と評価】

利用満足度調査の結果は、「満足」、「やや満足」で99%となり、引き続き高評価をいただきました。自由記述ではスタッフの対応が良い、センターの雰囲気が明るくなった、センター内のレイアウトが良くなったなど、コロナ禍ではあるもののセンターを利用する方々に気持ちよく利用してもらおうとの努力が認められた形となり、スタッフのこれからの励みにもなりました。

6. 市民活動に係る相談に関する事業

(1)相談対応及び専門相談

支援センター業務の大きな柱である相談業務は、相談者に寄り添い、受け止めるという基本的な考え方で対応 しています。相談は1回で終わりにせず、いわばリピーターとして何度も来ていただき、さまざまな視点からの助言 と提案を心掛けて対応しました。

専門相談は NPO 経営支援アドバイザー派遣制度の活用やNPO法人との提携により、経理、労務、税務等の相談に対応しています。

添付資料参照:「相談コーディネート事例」

【課題と評価】

本年度も、NPO法人設立、NPO法人運営、団体の会計、助成金獲得や効果的な広報、他との連携等様々な相談があり、これら一つ一つに真摯に対応しましたが、同時にスタッフの知識や能力の向上という点も課題の一つです。今後もスキルアップに努めるために、研修や研究をしていきます。

今年度は例年よりも多くの専門書籍を購入し、NPO支援組織としての資料の充実を図りましたが、まだまだ十分ではないため、引き続きNPO活動の図書館機能を目指して資料の充実を計画していきます。

また、3年度は相談をきっかけとして登録してくださる団体も例年より多くあり、他団体との連携につなげるなど、センターのミッションの一つである「つなげる」「連携」にも貢献できました。